

分野	専門基礎分野 —疾病の成り立ちと回復の促進—	対象学年	1
		時期	後期
授業科目	生活療法学Ⅰ Daily Life CareⅠ	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>食事療法学は治療の中でも、より生活に密着しているものである。生活療法学Ⅰでは、食事療法を学ぶための基礎としての栄養学を学び、退院に向けての食事指導の演習や、治療食の調理実習の演習を行い看護に役立つ内容である。</p> <p>栄養学はからだの仕組み・物質の代謝からライフステージ別の栄養管理、生活習慣病予防、代表的な疾患の治療食などを学ぶ。また、栄養素の働きと大切さを理解し専門分野への関心を高める。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養学の基礎知識を理解する。 2. 食事療法についてその必要性を含めて理解する。 3. 食事指導時の看護師の役割について理解する。 		
評価方法	終講試験 100点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能【3】栄養学 医学書院 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂 腎臓病食品交換表 医歯薬出版		
参考図書			
メッセージ	栄養学の知識力は臨床現場には不可欠な時代となっています。栄養の大切を理解し興味・関心を持てる授業になれば幸いです。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	食べ物と栄養素	食べ物と栄養素について学ぶ	食品 食品の成分と栄養価	講義	
2	からだの仕組み	からだの仕組みについて学ぶ	からだと栄養素	講義	
3	消化吸収と栄養素の働き	消化吸収と栄養素の働きについて学ぶ	栄養素の種類	講義	
4	ライフステージと栄養	ライフステージと栄養について学ぶ	乳幼児期、学童期・思春期・青年期、成人期、老年期の栄養	講義	
5	エネルギー代謝	エネルギー代謝について学ぶ	エネルギーの獲得 生理的燃焼価 エネルギー消費、収支	講義	
6	食事摂取基準	食事摂取基準を学ぶ	エネルギーおよび栄養素の食事摂取基準	講義	
7	健康の維持と栄養	健康の維持と栄養について学ぶ	国民健康・栄養調査 食生活の変遷と疾病の変遷	講義	
8	栄養アセスメント	栄養アセスメントを考える	栄養アセスメントとは 全身アセスメント	講義	
9	栄養素補給方法	栄養素補給方法を学ぶ	治療食の基準 検査食 栄養素補給方法	講義	
10	疾病と個別対応	疾病と個別対応について学ぶ	疾病と栄養管理	講義	
11	栄養サポート	栄養サポートを学ぶ	医療に必要な栄養サポート からだづくりに必要な栄養サポート	講義	

専門基礎分野

12	腎臓病食	腎臓病食を調理する	腎臓病食をつくる	調理 実習	
13	介護食	介護食を調理する	介護食をつくる	調理 実習	
14	糖尿病食	糖尿病食を調理する	糖尿病食をつくる	調理 実習	
15			終講試験		